

個別事業計画書

所管部署：教育委員会 教育総務課

(単位:千円)

事業名	学校規模適正化検討事業	細事業名		新継区分	新規事業	
総合振興計画 の位置づけ	第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る	根拠法令等	南丹市立小学校及び中学校設置条例			
	2 明日を担い、内外で活躍するひとを育てる					
	(1)学校規模の適性化					
事業計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 24 年度	各計画年度ごとの事業概要と目標・事業費	年度	当該年度における事業の実施内容	当該年度に目指す成果・効果	事業費
現状の課題	少子化による児童数の減少により、小規模校での複式学級実施校が増加するなど教育環境が変化している中、子どもたちを第一に考えたより良い教育環境のあり方について、様々な見地から検討する必要がある。		平成 22 年度	平成21年度 予算現額 学校問題検討委員会 PTA・地元関係者との懇談会	学校規模適正化に関する答申 適正化に向けた調整	0 280
具体的な実施内容	より良い教育環境での学びを第一に、現在直面する学校教育や子どもたちを取り巻く地域課題を関係者と共に有し、子どもたちが生き生きと切磋琢磨し、すこやかに育んでいける教育環境の整備充実を目指す。関係者との懇談等、協議・調整を図りながら、学校規模の適正化や適正配置についての検討を行う。		平成 23 年度	学校問題検討委員会 PTA・地元関係者との懇談会	学校規模適正化に関する答申 適正化に向けた調整	280
事業の目的	より良い教育環境の整備・構築を図る。		平成 24 年度	学校問題検討委員会 PTA・地元関係者との懇談会	学校規模適正化に関する答申 適正化に向けた調整	280
事業の効果	次代を担う子どもたちを、より良い教育環境の下で学ばせることができる。					